指定管理者制度による施設の管理運営状況総括調書 (総合結果)

施		設	Ļ		名	(三崎漁港)	宮川特	別泊地、	宮川	一時停係消	特別泊	地及び宮	宮川環境整	備施設
指	定	管	理	者	名	みうら漁業協	易同組合	ì						
施言	殳所 ੰ	管課	(事	務所)	水産課					()	東部漁港	基事務所)
指	5	定	期		間	R3. 4. 1 (2021年)	~	R8. 3. 3 (2026年	_	評価期間	R3 (2021)	年度	$\sim \frac{R5}{(2023)}$	年度

指定管理者制度による管理運営状況の総合評価							
評価	評価基準	評価基準					
S	S:極めて良好 A:良好 B:一部改善が必要 C:抜本的な改善が必要						
	評価理由及び今後の対応						
指定管理者制度による管理運営状況の総括を行ったところ、施設の管理が適切に行われていることを確認した。 施設の利用者数は年々減少傾向ではあるが、目標値を大幅に上回っており、利用者満足度は高いことから、指 定管理者制度による管理運営は有効であると評価できる。 このため、引き続き指定管理者制度により、施設の管理運営を行う。							
	指定管理者制度による管理の有効性 有 無						

1 サービス向上に向けた取組の実施状況

確認項目	確認の視点	項目別評価	内容・評価理由
指定管理業務実施 にあたっての考え 方、運営の方針等	□指定管理業務の総合的な運営方針が 守られているか □委託した業務は適切に実施されてい るか	А	施設の維持管理に関する業務、施設の 運営に関する業務及び利用料金の徴収に 関する業務は運営方針に基づいて確実に 実施されている。
施設の維持管理	□施設の維持管理(清掃業務、ごみ収集業務、保守点検業務、受付業務、警備業務等)は事業計画どおり実施されているか	А	清掃、巡視、維持修繕、受付等は、事業計画のとおり実施されていることを月例報告書及び随時の現地調査により確認している。
地域と連携した魅 力ある施設づくり	□地域人材の活用、地域との協力体制 の構築、ボランティア団体等の育成・ 連携の取組を積極的に行っているか □地域企業等への業務委託を行ってい るか	А	維持修繕において地元の業者を積極的に活用している。また、駐車場の利用料金徴収業務等では地域人材を活用している。 業務委託は行っていない。
評価結果		評価区分	
A	S:協定等に定める水準を上回る(項目A:協定等に定める水準どおり (項目B:協定等に定める水準を下回る(項目C:協定等に定める水準を大幅に下回る	別評価でB、 別評価でB	CがなくAが半数以上 ※) ド1つ以上)

2 施設の利用状況

	R 3 年度	R 4年度	R 5 年度	3 か年平均
目標値 (指定管理者提案値) 設定方法: ア	6,840 台	6,841 台	6,842 台	6,841 台
利用者数	12, 357 台	10, 480 台	9, 199 台	10,679 台
対目標値(数)	5,517 台	3,639 台	2,357 台	対目標値(率)
※下段は率	181 %	153 %	135 %	156.1 %

※目標値の設定方法 ア…募集時の提案事項のため、指定期間当初から設定 イ…モニタリング調書作成等のため、便宜的に設定

評価結果		評価区分			
S	利用者数と目標値を S:110%以上 A:100%以上〜110 B:85%以上〜100 C:85%未満	1 . 1 . 1 . 1	女性保護施設と県営住宅において評価を 行わない場合、目標値欄には定員等を記 載する。		
確認(の視点	施設の利用状況についての評価			
□事業の広報・PFれているか □自主事業は施設のし、利用促進につた	ながっているか	掲示することで広報・PRを効 特別泊地利用者向けに船底清 業を行い、施設利用の促進につ	請掃、遠地居住者の艇管理代行等の自主事 つなげている。 三事業を実施しており、利用者満足度向上		

3 利用者満足度の状況

	R3年度	R 4 年度	R 5 年度	3か年平均
利用者満足度調査において「満足」と答えた利用者の割合 (サービス内容の総合的評価に係	95.7 %	93.5 %	87.2 %	92.4 %
る設問) ※上段:割合、下段:回答者数	44 人	43 人	34 人	92.4 /0

※複数回実施した場合や複数対象に向けて実施した場合等は、合計した数値を記載

評価結果		評価区分			
S	S: 90%以上 A: 70%以上~ 90 B: 50%以上~ 70	段階の評価)と答えた割合が (3か年平均) 0%未満			
確認	の視点	利用者満足度の状況についての評価			
□調査の実施方法 数、配布方法等) (□利用者満足度向_ 切か		施設管理棟の窓口及び駐車場の窓口にアンケート用紙を用意し簡易アンケートに協力をお願いするとともに、特別泊地利用者に対して詳細アンケートを郵送により実施し、3か年平均で52.4%の回収率であった。3か年平均で回答者の92.4%が満足と回答していることから高い評価を得ており、利用者満足度向上に向けた取り組みは適切に行われている。			

4 苦情・要望等への対応

	年月	意見の内容	対応状況			
	該当なし					
施設の管理に関す る利用者からの主						
な意見と対応状況						
確認(の視点	苦情・要望等への対応についての評価				
□積極的に苦情・要組んでいるか □把握した内容を事	事業等へ適切に反	り組んでいる。 把握した要望等を県東部漁 ・施設の改善や駐車場の利用	料金等、指定管理者に起因しない苦情・要			
する仕組みを整備し □苦情・要望等への		望が主であるが、丁寧に説明めており、内容を県に報告し	し利用者から一定の理解を得られるよう努 ている。			

5 事故・不祥事等への対応

事故・不祥事等の	発生年月日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況(内容及び実施日を記入) ③その後の経過(現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等) ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無(有の場合は概要を記入) ⑤原因及び費用負担の有無(費用負担が有の場合は内容および負担者を記入) ⑥記者発表の有無(有の場合はその年月日を記入)
概要と対応状況	該当なし	
確認(の視点	事故・不祥事等への対応についての評価
□事故・不祥事等版が構築されているだ □事故・不祥事等をか)7	がる施設の不備への早期発見に努めている。 事故・不祥事は発生していない。

6 収支状況

単位	エ	ш

	【参考】R2年度		R 3年度		R 4年度				
収入			19, 324			20, 211		,	18, 615
			4, 863)		(16, 062)			(16, 062)	
	指定管理料		その他		利用料金	その他	指定管理料	利用料金	その他
内訳	10, 875	8, 449		10, 453			10, 453	8, 162	
	(9,863)	(5,000)		(10, 453)	(5,609)		(10, 453)	(5,609)	
支出			19, 235			13, 779			13, 817
ХШ		(1	4, 863)		(1	6, 062)		(1	6,062)
収支差額			89			6, 432			4, 798
以义左创 			(0)			(0)			(0)
			` '						(- /
	F	₹5年度	, ,		累計	, ,			(-)
1107 7	F		17, 676			56, 502			(-)
収入	F								(1)
収入	指定管理料		17, 676	指定管理料		56, 502			(1)
収入		(1	17, 676 6, 062)			56, 502 48, 186			(-7)
	指定管理料	(1 利用料金	17, 676 6, 062)	指定管理料	利用料金	56, 502 48, 186			
内訳	指定管理料 10,453	(1 利用料金 7, 223 (5, 609)	17, 676 6, 062)	指定管理料 31,359	利用料金 25,143 (16,827)	56, 502 48, 186			(-7)
	指定管理料 10,453	(1 利用料金 7,223 (5,609)	17,676 6,062) その他	指定管理料 31,359	利用料金 25, 143 (16, 827)	56, 502 48, 186 その他 0 0			×-7
内訳	指定管理料 10,453	(1 利用料金 7,223 (5,609)	17,676 6,062) その他 13,823	指定管理料 31,359 (31,359)	利用料金 25, 143 (16, 827)	56, 502 48, 186 その他 0 0 41, 419		計/支出合訂	

※()内は収支計画額。令和5年度は速報値

	(() /) [14] 十久(3 还称他						
評価結果		評価区分					
S		上 上					
確認(の視点	収支状況についての評価					
□収入増加に向けがか □経費節減に向けがか	を取組の内容は適切を取組の内容は適切	広報活動及び自主事業の実施により、施設利用者増加及び駐車場の利用料金収入増加を図っている。 時間外の駐車場利用者に対し、料金の未徴収を防ぐため、出車時に料金を納めていただくよう張り紙をし、収入増加に努めている。 空調の調整や照明を一部間引く等、経費の節減に取り組んでいる。					

7 業務遂行能力

確認項目	確認の視点	項目別評価	内容・評価理由
人的な能力、執行 体制	□管理運営にあたって適切な人員が配置されているか □人材育成や職員採用が適切に行われているか □労働時間短縮の取組や職場のハラスメント対策など労働環境の確保の取組が行われているか	А	駐車場の利用料金徴収、管理棟及び泊地内の巡回に常時各1名を配備し、利用者の多い休日には人員を増員し、効率的で適切な人員配置がなされている。 選考基準により適格者の採用に努めている。 仕事の効率化に努め、時間外労働は原則発生していない。
コンプライアン ス、社会貢献	□指定管理業務等の実施にあたって法令違反等の行為はないか □環境への配慮は適切か □障害者雇用等の状況は適切か	А	法令違反等の行為は発生していない。 オフィス古紙の減量化、分別排出及び 資源化、再生紙や再生品、リサイクルし やすい事務用品を使用している。 障害者雇用の実績はないが、機会をみ て雇用に努める考えを持っている。
個人情報保護	□個人情報保護についての方針・体制 及び教育・研修体制は適切か □個人情報の取扱いは適切か	А	個人情報の漏洩による事故は発生していない。 必要以外の個人情報は収集せず、出入 港届等の個人情報が記載された書類は鍵 付きの金庫で保管して管理している。
評価結果	評価区分		
Α	S:協定等に定める水準を上回る(項目別評価でB、CがなくSが半数以上※) A:協定等に定める水準どおり (項目別評価でB、CがなくAが半数以上※) B:協定等に定める水準を下回る(項目別評価でBが1つ以上) C:協定等に定める水準を大幅に下回る(項目別評価でCが1つ以上)		